

平成29年度 事業報告書

自：平成29年1月 1日
至：平成29年12月31日

公益財団法人 日本国際医学協会

1、理事会・評議委員会開催

第1回理事会	平成29年1月26日（木）	学士会館
第1回評議員会	平成29年2月16日（木）	同上
第2回理事会	平成29年12月7日（木）	同上

2、国際治療談話会例会開催

当財団の起源である医学談話会は、医師生涯教育の先駆けで、大正14年3月10日に発足し、昭和30年9月以降は国際治療談話会例会の名のもと既に400回以上開催されている。本例会はメインテーマのもと各専門家にそれぞれの領域の最新知見を講演していただいている。創立者石橋長英は、当時すでに専門別に細分化されつつある医学を統合する必要性を感じ、基礎医学と臨床医学の縦の連係と、臨床各科の横の連係の双方から学習することを目的とした。

さらに、医療に携わる人は病める人と向き合う上で、医歯薬以外の幅広い見識が求められるという創立者の理念に基づいて、昭和43年（第91回例会）から始まった医歯薬界以外の名士による「感想」は、当財団独自の講演であり全人的医療の推進に役立っている。国際治療談話会は医師のみならず医療関係者に対して、生涯にわたる総合医学教育の場として定着している。

今年度例会は以下の通り開催した。

平成29年国際治療談話会例会一覧

(会場はいずれも学士会館)

(1) 第427回 国際治療談話会例会

日時	平成29年1月19日（木）
司会	山田 明
テーマ	骨・関節疾患の話題 ＝痛風の今と昔 自治医科大学附属さいたま医療センター リウマチ膠原病科 教授 寺井 千尋 先生 ＝脊椎疾患 公益社団法人東京都教職員互助会 三楽病院 整形外科 脊椎・脊髄センター センター長 佐野 茂夫 先生
感想	＝現代ドイツ文学とミュージル 中央大学理工学部 教授 早坂 七緒 先生
出席者	40名

(2) 第428回 国際治療談話会例会

日時 平成29年3月16日(木)

司会 近藤太郎

テーマ 国際保健

=グローバルヘルスの潮流と日本への意義

厚生労働省大臣官房 国際課 国際保健企画官

課長補佐 江副 聡 先生

=「システム×グローバル」の時代をどう生きるか?

東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学室

教授 渋谷 健司 先生

感想 =リーダーのための交渉・コミュニケーション術：
納得の導き方

株式会社KS International Strategies

代表取締役社長 島田久仁彦 先生

出席者 61名

(3) 第429回 国際治療談話会例会

日時 平成29年5月25日(木)

司会 伊藤公一

テーマ 世界甲状腺デーに当たって～甲状腺疾患診療
最前線～

=甲状腺外科医を代表して

東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野

教授 筒井英光 先生

=甲状腺内科医を代表して

伊藤病院 内科 医長 渡邊奈津子 先生

感想 =浅草中屋のビジネスモデルとは

祭用品専門商社 浅草中屋 中川株式会社

取締役社長 中川雅雄 先生

出席者 47名

(4) 第430回 国際治療談話会例会

日時 平成29年7月20日(木)

司会 市橋 光

テーマ 小児から成人への移行医療
＝小児から成人までのシームレスなリウマチ・膠原病治療を目指して

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科

生涯免疫難病学 教授 森 雅亮 先生

＝小児内分泌代謝疾患の移行期医療～If you
want to go far～

慶應義塾大学医学部 小児科学教室

教授 長谷川奉延 先生

感想 ＝ことわざにみられる日本とドイツの文化比較

筑波大学人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

教授 伊藤 眞 先生

出席者 38名

(5) 第431回 国際治療談話会例会

日時 平成29年9月14日(木)

司会 谷口郁夫

テーマ 睡眠障害の最近の話題

＝不眠症治療のゴールとは何か？－睡眠薬の適
正使用ガイドラインから－

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

精神生理研究部 部長 三島和夫 先生

＝睡眠障害とその弊害

東京慈恵会医科大学 精神神経科 教授

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 院長 伊藤 洋 先生

感想 ＝夢のはなし-日本古典文学のなかから

作家・国文学者 林 望 先生

出席者 38名

3、国際治療談話会総会開催

本総会は昭和36年より毎年1回11月に開催し、例会同様に総合医学教育を実践するだけでなく、医学を通じた国際交流に寄与するため、随時海外の医学者を招待し最新知見を取り上げている。総会においても医歯薬以外の名士による「感想」講演があり、講演会終了後の懇親会は国際医学交流並びに会員相互の親睦、情報交換の場となっている。また、平成14年度からは創立者石橋長英の名を冠し、石橋記念講演を開催している。これは、日本で活躍中の海外からの若手医学研究者を奨励する医学講演であり、国際医学交流の普及に貢献するため毎年開催している。

今年度総会は以下の通り開催した。

(6) 第57回国際治療談話会総会日時	平成29年11月9日(木)
司会	石橋健一
テーマ	消化器疾患の撲滅をめざして
石橋記念講演	＝トランスポゾン・ミュータジェネシス 法によるゲノムワイドながん関連遺伝子の探索
東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程 第2部 ＝ピロリ菌感染症と胃癌	ポー・ブーン・ミン 先生
慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター 教授	鈴木秀和 先生
＝炎症性腸疾患治療の変遷と展望	
東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 教授	猿田雅之 先生
＝C型肝炎関連肝癌克服への歩み	
東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科 教授	小池和彦 先生
感想	＝欧州、EU連合、そして通貨ユーロ～ 一人の欧州人として戦後ドイツから現在 までを振り返り、未来を展望する
株式会社NRWジャパン 代表取締役社長	ゲオルグ・ロエル 先生
出席者	52名

4. 国際医学交流

医師生涯教育に並んで当財団の主要な事業に国際医学交流がある。国際医学交流は伝統的にドイツとの間で盛んに行われ、過去に多くの医師や研究者が当財団を通じて交流を果たしてきた。また、これらの交流は市民まで広がり、栃木県の下野（旧 石橋町）とディーツヘルツタール（旧 シュタインブリュッケン）、群馬県の草津と日本近代医学の父 ベルツ博士生誕の地ビーティヒハイムビッシンゲンのように市姉妹都市締結にまで至った歴史がある。

今年度は草津とビーティヒハイム市が姉妹都市締結55周年にあたり、ビーティヒハイム市長と市議会議員ら10数名が来日され草津を訪れ、10月2日に東京築地で理事長がご一行を歓待し交流を深めた。

5、会報(International Medical News)発行

インターナショナル・メディカルニュース（IMN）を隔月刊行する。

本誌は例会並びに総会講演抄録の和英両文からなり、全会員および医学関連機関・国立国会図書館に配布され、当協会ホームページから随時、閲覧できダウンロードも可能である。

わが国の医学医療の現状を紹介すると共に、国際医学交流に活用され今年度は下記の通りに発行した。

インターナショナル・メディカル・ニュース（IMN）

第481（H28.11.10総会）～第486（H29.11.9総会）非売品

6、報告事項

（1）石橋理事長

①ドイツCDU・CSU会派カウダー院内総務とのレセプションパーティー

日 時：2017年4月5日（水）

場 所：ドイツ大使館

出 席：石橋理事長

②公益社団法人 日本歯科医師会役員就任披露パーティー

日 時：2017年9月14日（木）

場 所：ホテルニューオータニ東京 鳳凰の間

出 席：石橋理事長

③ドイツ統一記念レセプション

日 時：2017年10月3日(火)
場 所：駐日ドイツ連邦共和国大使公邸
出 席：石橋理事長

④NRWジャパン設立25周年記念晩餐会

日 時：2017年11月30日(木)
場 所：ホテルニューオータニ東京 鳳凰の間
出 席：石橋理事長

⑤第54回エルウィン・フォン・ベルツ賞贈呈式

日 時：2017年11月30日(木)
場 所：駐日ドイツ連邦共和国大使公邸
出 席：石橋理事長

(2)伊藤公一常務理事

記載報告なし

(3)近藤太郎常務理事

①欧州製薬団体連合会 EFPIA Day レセプションパーティー

日 時：2017年11月1日(水)
場 所：駐日欧州連合代表部 ヨーロッパハウス
出 席：近藤常務理事

②イノベーター・オブ・ザ・イヤー授賞式・祝宴

日 時：2017年12月13日(水)
場 所：ザ・キャピトルホテル東急
出 席：近藤常務理事